第6期 船橋市民活動サポートセンター運営協議会　団体支援部会作業スケジュール

		令和５年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
会議日程	部会開催日	**第１0回(4/20)** **今年度検討課題・方針の策定**	**第１1回(5/11)**	**第12回(6/8)**	**第13回(7/13)**	**第14回(8/10)**	**第15回(9/14)**	**第16回(10/12)**	**第17回(11/9)**	**第18回(12/14)**	**第19回(1/11)**	**第20回(2/8)**	**第21回(3/14)**
	運営協議会開催日			(2023/6/22)			(2023/9/28)			(2023/12/21).			(2023/3/28)
①市民大学との連携					受入れ団体の募集	プレゼン資料作成	9/20　マッチング会		実　地　体　験				
②プレゼンテイションのスキルアップ						基調講演？	研修会の実施？						
③プロボノの調査、設立の検討			全体計画	広報・PR	市民団体・ワーカー募集		マチング		実　　施				
④参加団体の問題点等について情報の収集・検討		クロス集計による問題点整理											

「今回の検討課題」

1.市民大学との連携

市民大学生と市民団体のマッチング会を9月２０日に予定,8月5日に募集締め切り・・・応募状況？

・昨年度の実施状況の確認・検証等・・・市民大学にヒアリング

2.プレゼンテイションのスキルアップ（組織診断参照）

特別講演、講師：手塚明美氏 （当日アテンド：田久保委員）　テーマ：「巻き込むチカラ」

（1）日時：９月３日（日）　受付；13：00　開始；13：30　終了；15：30

（２）募集：8月1日～８月20日　　申込方法：電子申請・電話・・・・現在の応募状況（定員３２名）

（３）当日スケジュール（全体２時間）　講義80分・ワーク（個人）20分・連絡/ＰＲ（プロボノ、説明担当？）10分

・当日の机、椅子等のレイアウト再確認

・講演会のアンケート内容

3.プロボノの検討（資料【プロボノ説明会】企画書案）

・広報　「広報ふなばし」9/15号に掲載予定　　「しみんりょく」　HP

・説明会　１０月21日　13：30～　　場所：サポートセンター　定員：３２名

・説明内容・資料等について「ふなボノ」と打合せ要

4. ボランティア体験通年事業の対応について

・他部会での意見

「前回の検討結果」

1.市民大学との連携

①開催日時：令和5年9月21日10時～17時　会場：ふなばし市民大学校校舎

7月31日までを締め切り期限としていたが、書面で送付している団体の回答を含め8月5日まで延長することとした。

②7月13日現在の申込状況➡7団体

③昨年の受講生、参加団体双方からのアンケート結果、並びに実施状況の検証が必要と思うが如何か→市民大学校に確認する（市民協働課）

2.プレゼンテーションのスキルアップ

①チラシは事前告知として公民館、図書館に配布済み。団体にはメール、郵送で周知。8月１号広報ふなばしに掲載時より一般参加の申込受付開始

②当日に向けた検討課題

・当日の運営について➡会場はセンター入口の右側を正面とし参加者はJR船橋駅を背にする椅子の位置。机の配置等は参加者数が確定後に検討する

・準備備品➡モニター2台、マイク、スピーカー、撮影（原口）、講師アテンド（田久保）

・ワーク内容について自己ワークかグループワークかを講師と再確認

・組織の自己判断シートについては講師から説明をしてもらい、各団体が持ち帰り実施する。その後、市民協働課がとりまとめ講師へ送付。診断結果は講師から返送。返送方法はメール？

・自己診断の結果、「プロボノ」と「何でも相談窓口」の2つの手段を、団体の課題解決への伴走の手段として提示する

・アンケート内容は従来の講演と比較しやすいよう通常通りの内容とする

・プロボノの説明は事務連絡として行う。

3.プロボノに関する検討

①説明会開催　令和5年10月21日（土）対象：団体及び一般市民

開催時間は13時30分から15時とし、その後30分間で個別相談を行う

②当日は参加者がプロボノ概要説明やふなボノの説明、実例紹介を聞きワーカー登録しようと思ってもらえることを達成目標としたい。

4. ボランティア体験通年事業の対応について（資料11参照）

以前から夏ボラのアンケートにボランティア体験を通年で実施したい、受け入れたいとの声があり検討することになったので、各部会で意見をまとめる。

≪メリット≫

・夏休みのような短期ではなく長期で体験したい人には有効

・期間に縛られない

・夏ボラの時期に受入れられない団体には活動に合わせた受入れが可能になる

≪デメリット≫

・受け入れ期間があったから受け入れやすかった

・マッチング実施など実際を考えると実施困難では？